

基本目標番号	施策番号	施策内容	担当課	KPI	実績の根拠	現状値(H27)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31実績	目標値(H31)	目標(H31)	評価	H31状況	H31課題・評価	総評
基本目標2 発見！発見！阿南流「山暮らし」	施策1:町の強みを再認識し、活用できる情報発信	◆町の行政情報の伝達を円滑に行える仕組みづくりを検討し推進します。 ◆県立阿南病院や阿南高等学校、小中学校、自然の家等の公共施設も含め地域資源の魅力を活かした情報発信を推進します。	総務課 行政係	①区長文書軽減を図るシステムを構築する	不要	—	-	-	-	-	-	数値なし	指標無し	-	毎月2回、各地区に個人宛通知も含めた回覧文書の配布を依頼している。 地区の高齢化に伴い、回覧板を回すこと、また集金についても、支障が出てきている。	地区内で回覧していただくことで、住民の状況確認ができるメリットもある。 個人宛通知の郵送を検討したが、配送に数日要するため、郵便局との更なる協議が必要。 CATVを活用し、配布文書の減少に努めた。	区長文書での回覧文書については、CATVを活用し、区長、組長の負担軽減に努めた。 毎月2回の文書配布についても、各課と協議し、1回とするよう調整してきた。 個人宛文書については郵送による方法を検討し、将来的に実現するよう調整した。
			総務課 行政係	②各関係機関と情報を共有し、住民に向けて連携して発信する仕組みをつくる。	不要	—	-	-	-	-	-	数値なし	指標無し	-	毎月2回の区長文書の時に、町内福祉施設や学校関係等から配布依頼のあったものについては、合わせて配布している。 観光分野については、SNSを用いた情報発信をしている。	各関係機関の広報誌等を区長文書に合わせて地区に配布しているが、上記のとおり区長文書における課題も多い。	区長文書と合わせて、CATV、町HPを活用し、迅速かつ正確に情報発信をしていく。
			総務課 教育委員会	③県立阿南高校、県立阿南病院、自然の家、小中学校がそれぞれの強みを活かしながら新しい魅力を発見できる連携体制の整備を図る。	不要	-	0	0	0	0		1	1組織	×	統一した組織体制の設置には至っていないが、必要に応じて施設間が個別に連携を取れる環境は整っている。	性質、目的の異なる各機関が一致して協力するためのテーマの設定が困難。 また、それぞれの機関における通常業務があるため、連携をとるのは「必要が生じた時、必要がある機関と。」にならざるを得ない傾向がある。	一例として令和2年度から病院から阿南高校への講師派遣が、人員の問題から実施できなくなっている。 各機関における人員問題、業務の増加等により統一での連携協力は一層とりにくくなってきているが、個別事情に応じた協力関係の構築については今後も推進を図っていく。
			振興課 振興係	④金融機関と連携した町商品等のマッチングや情報発信の件数	不要	—	0	0	0	0		20	5年間で20件		削除	削除	削除
	施策2:地域の個性を掘り起し、新たな魅力として情報発信	◆地域の魅力を再発見、再検証を大学連携等により外の視点から実施することで、地域の特色、資産、魅力の再認識を図ります。 ◆祭り等の民俗芸能や暮らしについて、誇りを持てるような意識の向上を目指します。 ◆地域の民俗芸能や風土・風習を地域が中心となって継続していただくため、総合的な支援を行います。南信州広域連合「基本構想・基本計画」民俗芸能保存継承プロジェクトに積極的に参画します。	教育委員会 社会教育係	①民俗芸能の維持(国県町の重文・無形)	①新野の雪祭 ②新野の盆踊り ③和合念仏踊り ④早稲田人形浄瑠璃 ⑤早稲田人形神送り ⑥日吉の御鎌様 ⑦深見の祇園祭り	7地区	6	6	6	6	6	7	7地区	△	①新野の雪祭(国重要無形民俗文化財) ②新野の盆踊り(国重要無形民俗文化財) ③和合念仏踊り(国重要無形民俗文化財) ④早稲田人形浄瑠璃(国選択無形民俗文化財) ⑤早稲田人形神送り(国選択無形民俗文化財) ⑦深見の祇園祭り(県選択無形民俗文化財) 日吉の御鎌様の芸能は休止状態で復活は厳しい中で、同時代に伝承された新野の御鎌様を保存会を立上げて復活させている	・日吉の御鎌祭りは、後継者不足のため、休止となった。 ・新野地区では、小中学生を対象として、「郷土芸能子ども教室」を立上げ、伝統芸能の保存継承活動を行っている。 今後、各地区の民俗芸能の保存、継承について、できる支援を行い、地域の伝統を絶やすことなく、後世へ伝えていくことができるよう努める。	
	施策3:生まれ育った地域で暮らすことへの意識の醸成を図る	◆公民館や体協等の社会教育活動をはじめとする生涯学習環境を計画的に整備、支援し、住民の生涯学習意識の向上を図ります。 ◆小中学校及び県立阿南高等学校において、地域の住民参加による民俗芸能や地域文化を授業に取り入れることにより郷土愛を育みます。	教育委員会 社会教育係	①生涯学習参加者数	①阿南町みんなで走ろう駅伝大会(小学校4年生以上) ②体協秋期大会 ③体協冬期大会 ④町民運動会・球技大会 ⑤成人式(全町民) ⑥町民大学 ⑦阿南元気塾(小学生)感性と創造のフェスティバル(全町民) ⑧ファミリーコンサートinあなん ⑨少年少女野球教室 ①～⑨の合計	2,350人/年(H26)	2,350	1,960	2,190	2,410	2311	2,500	2,500人/年	×	昨年に引き続き富草地区で陸上教室の成果となるクロカン大会を実施。当日は100名の選手・関係者により開催した。 囲碁・将棋教室は月2回、年24回実施した。また、今年から写真教室を2ヶ月に1回、年6回開催し、計100名以上の参加があった。 ⑨に関しては、講師の多忙により、事業の実施が困難な状況であり、H31年度には実施していない。H31年度以降も開催は未定。	H31年度は各地区ごとに開催している球技大会・運動会が台風のため中止となり、そのことに伴い目標値に届かなかったが、台風の影響がなければ、目標値を超えていたと考えられる。	参加対象者の減少のほか、平成31年度は天候、コロナ等の事情で開催自体ができなかった事業があり、目標達成には至らなかった。 今後は様々な講座・教室を企画し、その過程で住民のニーズを把握し、ニーズに沿った生涯学習活動を実施したい。 また、社会文化団体への施設使用料の減免等、住民の自主的な生涯学習を支援していきたい。

基本目標番号	施策番号	施策内容	担当課	KPI	実績の根拠	現状値(H27)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31実績	目標値(H31)	目標(H31)	評価	H31状況	H31課題・評価	総評
基本目標2 発見！発見！阿南流「山暮らし」			総務課 企画財政係	②地域の伝統 芸能に対する 関心意識の向 上	不要	36% 好きの回答 率	36	-	-	-	50	46	「どちらかとい えば好き」を 「好き」にす る。10%増	○	各学校の教育方針として学習に取り入 れている。 ①新野小学校・阿南第二中学校で郷土芸 能子供教室による新野の盆踊り、雪まつ りの学習 ②阿南第一中学校で早稲田人形の学習 ③富草小学校で富草太鼓の学習	伝統芸能に縁の無い地域もある。	目標は達成したが、引き続き取り組みを 継続していく。
	施策4：リニア を見据えた 「山暮らし」の 魅力を共感で きる移住・定 住への支援	◆リニア中央新幹線や三遠南信 自動車道の開通を見据えて、クラ インガルテン新野高原の新たな 利用者や利用方法を検討し、戦 略的に情報発信を行います。	振興課 振興係	①クラインガル テン利用棟数	20棟-入居-体 験	17棟	17	16	15	11	13	20	20棟	×	平成22年4月からオープン。 H28 13棟入居、3棟体験、4棟空き H29 12棟入居、3棟体験、5棟空き H30 8棟入居、3棟体験、9棟空き H31 10棟入居、3棟体験、7棟空き	空き棟の契約。ホームページやSNS等 の情報発信を頻繁にする。	利用料金の緩和などの利用促進を図っ た結果、H30年度からH31年度の実績は 多少改善が図られたが、さらに管理組合 や信州アトム、町との連携や改革が必 要。 PR方法も一新する内容での取組みが 必要。
		◆クラインガルテン新野高原で山 暮らしの魅力風土・風習を十分に 体験していただき、定住が図れる ような情報発信や地元住民との 交流イベントの充実を図ります。 また、計画的に施設整備を行いま す。 ◆クラインガルテンから定住につ ながるように、利用できる空き家 への定住が図られるような仕組 みづくりを検討し、定住に向けた 事業展開を図ります。	振興課 振興係	②クラインガル テン利用者か ら定住した件数	Kさん	1件	1	1	1	1	1	4	4件	×	クラインガルテン利用者の内、1名は新 野地区に定住し、新野地区の空き家を購 入した。	信州アトムによる定住に繋がる魅力ある 事業展開が必要であるが、利用者の目的 が定住ではないため難しい。	目標は達成されなかったが、定住された 例が1件、家を購入して2地域居住に取り 組んでいる事例が1件あったため、今後も 利用率の向上を魅力発信を継続的に行っ ていく。
		◆地域おこし協力隊や集落支援 員を活用し定住につなげます。	総務課 企画財政係	③地域おこし 協力隊・支援員 から定住した人 数	菊島さん 尾崎さん 飯野さん	1人	1	2	2	2	3	2	2人	○	過去の地域おこし協力隊員の内、1名 は阿南町役場職員、1名はカフェ経営、1 名は農業等の自営業を行っている。 平成30年度以降、新たな地域おこし協 力隊員の採用はない。	新たな地域おこし協力隊員の応募は少 なからずあるものの、なかなか採用まで には至っていない。	町で採用した地域おこし協力隊員5名の 内、3名は定住した結果となっているた め、地域おこし協力隊員から定住への結 びつきはあると考えられる。 今後も新規地域おこし協力隊の確保に 向けて努めていく。
基本目標2 発見！発見！阿南流	施策5：ひとの 流れを活性 化させる情報 通信・アクセ ス環境の整 備	◆町の観光拠点である道の駅信 州新野千石平及びゆうゆ〜らん ど阿南かじかの湯のPRについて は、広域連携を図りながら積極 的・効果的に発信します。	振興課 振興係	①道の駅やか じかの湯など 町内主要観光 入込数	新野高原・阿南 温泉・二瀬キャン プ場の合計	30万人	324,800	295,100	277600	265,900	240,100	364,652	前年比5%増	×	本年度に道の駅の大規模改修工事を実 施した。 キャンプ場のバンガロー予約をインター ネット受付化。利用者が増加したが、他の 施設では減少傾向。 H30 新野高原 161,900 かじかの湯 94,700 二瀬CP 9,300 H31 新野高原 149,300 かじかの湯 85,700 二瀬CP 5,100	減少の要因は、道の駅では大規模改 修、かじかの湯では定期利用者の減少、 キャンプ場は河川工事による休業が推測 される。 次年度は、リニューアルオープンや利用 者に特化したサービス、全日営業等によ り回復を目指したい。	目標値である前年比5%の増は達成さ れなかったが、原因が明確であるため、 引き続きパンフレットやインターネットを 活用したPRを継続し、現状維持以上を確保 したい。
		◆道の駅信州新野千石平及びゆ うゆ〜らんど阿南かじかの湯を観 光拠点と位置づけ、周辺は観光 客のニーズにあわせて、EVスタン ドや情報通信網等の整備を計画 的に行います。 ◆リニア中央新幹線や三遠南信 自動車道東栄インター開通を見 据え、新たな観光・交通事業の展 開を検討します。	振興課 振興係	②EVスタンド等 の利用台数	利用台数の合 計	—	-	307	304	771	1,006	720	年間180台以 上	○	平成27年度に町内3カ所(千石平道の 駅、ナビカ、食彩館)に設置した。 H30 道の駅 302台 ナビカ 110台 食彩館 359台 H31 道の駅 426台 ナビカ 221台 食彩館 359台	収支で赤字が生じている。 現在の利用より倍以上にならないと解 消されない。	目標である年間180台以上は達成されて いるが、収支で赤字が続いている。 利用者の待ち時間(30分)の考慮や、HP やナビで提携している企業等と連携しPR したい。

基本目標番号	施策番号	施策内容	担当課	KPI	実績の根拠	現状値(H27)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31実績	目標値(H31)	目標(H31)	評価	H31状況	H31課題・評価	総評
基本目標番号 元・阿南町 「山暮らし」	施策6: 広域 や民間等の つながりから 生まれる新た な情報発信	◆民間組織と連携しながら、効果的な情報発信、検証と改善を図ります。 ◆銀座NAGANOや名古屋駅周辺での積極的なPR活動やホームページ・SNS(社会的ネットワークサービス)等の情報発信技術を有効に活用しながら、積極的に町をアピールします。また、広域連携を有効に活用しイベントに積極的に参加することで知名度の向上を目指します。 ◆町単独では困難な課題について解決に向けて、南信州広域連合、飯田市を中心とした定住自立圏構想、長野・愛知県境域協議会等の様々な組織との、連携、協力、活用を図ります。	総務課 企画財政係	①周辺自治体 や企業との広 域連携数	①南信州広域連合 ②定住自立圏構 想 ③愛知・長野県 境域開発協議会 ④三遠南信地域 連携ビジョン推 進会議 ⑤工業振興協議 会 ⑥南信州観光公 社 ⑦信州アトム	4件	4	7	7	7	9	7	7件	○	①南信州広域連合 ②定住自立圏構想 ③愛知・長野県境域開発協議会 ④三遠南信地域連携ビジョン推進会議 ⑤工業振興協議会 ⑥南信州観光公社 ⑦信州アトム ⑧KOA株式会社 ⑨南信州菓子工房 等との連携を実施している。		連携を活かし、具体的な事業展開を行うように努める。
			振興課 振興係	②銀座 NAGANOイベ ント来場者数	※把握方法の 検討	100人/回	205	32	25	0	0	530	5年で530人	×	各市町村での利用できる枠がある。 H31は利用していない。	伝統芸能や伝統野菜など阿南町ならではのものをPRできるような機会を要望に応じて行う必要がある。	目標は達成されず、利用していない年が続いている。 市町村が利用できる枠が1枠あるものの、単純な物販での利用は難しく、何らかのイベント形式で実施する必要があるため、利用のハードルは低くない。今後、住民等からの要望等に応じて、利用検討していきたい。